

理研サイエンスセミナーを開催

2012年7月26日

理研サイエンスセミナーVI「変化するカタチ」が神戸で7月13日に開催された。理研の科学者が書道家や脚本家、デザイナーといった異分野の著名人と対談するシリーズイベントで、今回は理研CDBで生物の形態形成を研究する林茂生グループディレクター（形態形成シグナル研究グループ）と、ISSEY MIYAKEの元クリエイティブディレクターでデザイナーの藤原大氏が対談した。対談のテーマは「変化するカタチ」。生物とデザインの両面から、形をどのような戦略で決め、時代に合わせて変化させるのかを論じた。また、生物やファッションにおける形が、環境によって選択されるプロセスについても共通点を探った。対談の後には交流会も開かれ、参加者は登壇者に熱心に質問したり、他の参加者と活発に交流していた。



対談する林茂生グループディレクター（中央）と藤原大氏（右）



交流会の様子